

# 沖縄の文化を知ろう

## 目的

- ・琉球國祭り太鼓を通じて沖縄の文化を理解し、興味・関心をもつ。

## 効果

- ・沖縄文化の音楽・踊り・言語・風習等を学び、音や音楽で表現する楽しさを知る。

## 到達点

- ・沖縄文化への見識が広がる。

# ミュージックコース 琉球音楽



なりゆうぎゆうこくまつりたいこ

講師 琉球國祭り太鼓  
奈良支部



## 事前学習

琉球國祭り太鼓の演舞ビデオを鑑賞する。

## ワークショップの流れ（2日間く2コマ/日）

創作エイサーの実演鑑賞と、  
沖縄の音楽や風習などの解説



パーランクー（琉球太鼓）の叩き方、掛け声の練習



カチャーシー（手踊り）の演習



「三線の花」の実演鑑賞をし、グループに分かれて演習



発表会をして、合評および質疑応答

## 事後学習

文化祭で琉球國祭り太鼓を発表する。

## 略歴

琉球國祭り太鼓は、琉球王朝時代の歓迎の踊りである伝統芸能エイサーに、沖縄空手の型やポップスなどを取り入れた、撥捌きが特徴的な舞踊で、女性も打ち手として参加する勇壮でエネルギッシュな太鼓演舞である。本部は沖縄にあり、沖縄県内に12支部、国内に16支部、海外に7支部を持ち、総勢約1500名の一大太鼓集団である。奈良支部は2003年に結成された。

## advice points

- 会場は、防音施設のある視聴覚室や、体育館が望ましい。
- 琉球太鼓パーランクーを事前に準備しておくこと。

## …ワークショップを実施して…

### 講師の感想

沖縄の文化に触れながら、一緒に演習することで、喜びを分かちあうことの大切さが伝わったと思う。暑い夏に実施したワークショップだったが、生徒たちは誰ひとり挫折することなく練習を重ね、最終日の発表会は多くの人たちに見てもらえた。講師と琉球國祭り太鼓のメンバーにとっても貴重な時間であった。

### 先生の感想

事前に、琉球國祭り太鼓の人々の踊りをビデオで観たり、沖縄の曲を聴いたりして、沖縄について親しんだ。最終日には、数名の講師からよりきめ細かく本格的な指導を受け、生徒たちの理解が深まった。受講後、生徒たちはそれまで知らなかった沖縄の楽器に、一生懸命取り組むようになった。友達同士で踊りを教えあうなど、協調性も養われた。

### 生徒の感想

- ・毎日に追われていることを忘れて、楽しく時を過ごせた。
- ・沖縄にとっても興味をもつようになった。三線が学校にあればいいな、と思う。

## より発展的な ワークショップを 実施するために

- 受け入れ科目を社会科として、日本史で沖縄のことを学ぶ。
- パーランクー（琉球太鼓）だけでなく、三線にも挑戦する。